



## 労働安全衛生方針

日油グループは、各事業所の協力会社の方々も含めて、グループ一体となって労働災害の撲滅を目指しています。日油グループに関係する労働者全員が、

安全に安心して働ける職場をつくる決意を明確にし、理想を実現するために、2006年4月に労働安全衛生方針を定めました。

この方針の下、労働安全衛生マネジメントシステム

を整備して、必要な管理と改善に取り組んでいます。

## 2022年度の活動結果

2022年度日油グループは、「完全ゼロ災」\*1を目標に「不安全行動・不安全状態の撲滅」に向け、危険予知能力の強化や場内協力会社における危険箇所への抽出に取り組みましたが、目標は達成できませんでした。

## OSHMS\*2(労働安全衛生マネジメントシステム)の構築状況

日油グループでは、労働安全衛生方針を掲げ、OSHMSの構築に取り組んでいます。国際労働機関・厚生労働省などのガイドラインを参考にしてシステムを構築し、活動を推進しています。2008年度から日油のすべての事業所でスタートしたリスクアセスメント\*3は、現在では国内グループ会社にも展開しています。

### 労働安全衛生方針

#### 基本理念

私たちは、化学企業グループとして『安全なくして事業の存立はない』との理念のもと、従業員と地域社会の「安全」と「健康」の確保に努めます。全ての役員ならびに従業員は、レスポンシブル・ケア活動に則り、緊密な業務連携のもとに『安全で安心して働ける職場』を構築し、積極的に労働安全衛生活動を推進します。

#### 基本方針

- (1) 労働安全衛生に関する適切な自主管理システムを整備して、必要な管理と改善を継続します。
- (2) 作業環境の改善と設備の本質安全化を推進し、労働環境の変化を先取りしたリスク低減活動により労働災害の根絶を目指します。
- (3) 関連法規や自主的に定めた規定・基準を遵守します。
- (4) 快適な職場環境の形成に努め、健康保持・増進を支援します。
- (5) 労働安全衛生方針を全従業員に周知徹底するとともに、毎年あるいは必要に応じて見直します。

(2013年3月 改定)

※1 休業および不休業災害ともにゼロとする日油グループ独自の取り組み目標です。

※2 Occupational Safety and Health Management Systemの略。事業者が継続的に安全衛生の潜在的リスクの低減を実施するための組織、責任、手順、プロセスおよび経営資源について定めた管理システム。

※3 職場の潜在的な危険性または有害性を見つけ出し、これを除去、低減する手法。



日油グループでは従業員の安全と健康を確保するため、安全教育が重要であるとの認識の下、安全衛生管理体制の充実、安全教育の実施など安全活動の強化を図っています。

## 2022年度の安全活動結果と 2023年度のRC活動目標

2015年度より「完全ゼロ災」を目標に掲げ取り組んでいます。2022年度は労働災害が6件発生し、目標は未達となっています。

2022年度はRC活動目標の実施事項に「基本的安全行動の徹底」を掲げ、グループ内各社でこの目標に沿った施策に取り組みました。また、職場に潜む災害リ

スクへの対策を強化することを目的として、管理者が実際に現場を観察し、問題点を認識し、作業の安全化を図る「三現主義」に基づいた現場管理を推し進めました。結果、2021年度と比較して、休業災害は1件に減少（前年度比4件減少）、全災害発生数も6件に減少（前年度比6件減少）し、施策の効果があったと考えています。

しかし、発生した6件の労働災害を分析すると、不安全行動を原因として発生したケースが多く、「基本的安全行動の徹底」を今後も継続していく必要があると考えました。さらに、2023年度は転倒災害に注目して発生防止に取り組むことで、従業員全員に「基本的安全行動の徹底」に対する意識を植え付けることとしました。

## 交通災害の撲滅

2022年度に多発した通勤災害や業務上の交通事故の低減を目指し、交通安全への取り組み強化を実施しました。交通安全は事業所、関係会社の実情に合わせた独自の活動を進めています。活動内容としては、「交通安全週間パンフレット配布」「警察署による安全講話」「交通スローガン横断幕掲揚」などを実施しました。



大分東警察署による交通安全教育（大分工場）



交通横断幕（愛知事業所）

### 2023年度 日油グループRC活動目標 労働安全実施事項

① 危険に対する感性の向上と  
基本的安全行動の徹底（転倒、転落、墜落災害に注力）

- 労働安全教育・訓練の実施
- 危険予知能力の強化

② 災害リスクの低減

- [労働安全] ● 三現主義に基づく対策の強化
- [交通安全] ● 加害・自損災害\*の原因の深掘り
- 気付きを促す教育の強化

\* 加害・自損災害：通勤災害と業務上交通事故での加害および自損事故



### 体験・体感型安全教育

日油グループは、労働災害防止のための教育手段として、疑似的に危険性を体験として学ぶ体験・体感型安全教育を導入し、従業員の危険に対する感受性や安全意識の向上を図っています。



回転体巻き込まれ体験(尼崎工場)



高所墜落体験(尼崎工場)

外部教育を主に行ってきましたが、社内にも体感教育を導入し、より現場に即した教育にも取り組んでいます。

### 個人の「安全実行宣言」活動(国内グループ)

2011年度に発生した労働災害の要因分析結果から、危険感覚の欠如、不注意などの人的要因による労働災害を撲滅するためには、安全意識の底上げが必要と判断しました。2012年度より、各人が労働安全に関する行動目標を自ら設定し活動する「安全実行宣言活動」を継続実施しています。場内の協力会社を含め全員の安全実行宣言を掲示板で公開するなど、各工場ごとに工夫して取り組んでいます。



### 日油グループのRC\*教育訓練

日油グループの全従業員がRCに関して理解を深めるために教育に力を入れています。2022年度は、のべ53,066人が参加し、のべ時間約4.1万時間のRC関連の教育訓練を実施しました。



救命救急訓練 (先端技術研究所)



流出対策訓練 (尼崎工場)

#### 2022年度 RC教育訓練 日油グループ

分野	のべ参加人数 (人)	のべ時間 (時間)
RC全般	4,353	3,675
労働安全	32,803	25,355
環境安全	4,406	2,630
製品安全	7,138	6,579
設備安全	3,137	1,426
物流安全	1,229	1,263
総計	53,066	40,949

\* RC:レスポンスブル・ケアの略称。(P.41~43参照)



### BCP訓練・教育

全国的な地震による甚大な被害を想定し、国内の全生産箇所と連携した全社合同訓練を初めて実施しました。この訓練では、本社の非常事態対策本部と各生産拠点の間での円滑な情報共有と協力体制を構築することに焦点を当て、策定しているBCPの有効性を確認し、改善につなげています。

また、感染症の流行やサイバー攻撃などの非常事態に備えたBCPの整備や教育に関しても、継続的な取り組みを行い、積極的にBCPの拡充を図っています。



全社合同訓練（本社）



全社合同訓練（本社非常事態対策本部）



全社合同訓練（オンライン：川崎事業所、愛知事業所、尼崎工場、大分工場）



### 防災訓練

日油グループでは、有機過酸化物をはじめとする危険物、火薬類を製造し、災害発生時に社内外への被害を最小限でとどめることを最重要事項と考え、積極的に防災訓練に取り組んでいます。特に地域組織との合同防災訓練を定期的実施することで、地域と一丸になった災害対策の強化を図っています。

また、地元自衛消防隊消火操法大会などにも積極的に参加することで、消火技術の向上と地域へ安全意識の高さをアピールしています。



武豊町・近隣消防署との合同防災訓練（愛知事業所）



千鳥地区防災協との合同総合防災訓練（川崎事業所）



高所救護訓練（尼崎工場）



負傷者搬送訓練（北海道日油㈱）



消火器訓練（MCNA）



自衛消防隊消火操法競技大会表彰（日油技研工業㈱）



## 安全活動に対する表彰

日油グループでは、日頃の安全活動や危険物などの使用施設での無災害継続などが認められ、各種表彰を受けています。

川崎事業所では、神奈川県より長年に及ぶ高圧ガスの管理が評価され表彰されています。

北海道日油㈱では、美唄市より危険物および火薬保安に関する功績が評価され、表彰されています。

日本工機㈱では、防犯装置であるネットランチャーに関する論文が火薬学会で高い評価を受け、表彰されています。

ニチユ物流㈱では、大分県より無災害継続が評価され表彰されています。

これらの受賞を励みに、引き続き、安全活動や事故防止に努め、より一層安全管理の推進に取り組んでいきます。

## 安全活動への表彰実績

事業所	受賞日	名称
尼崎工場	2022/6/7	一般社団法人兵庫県高圧ガス保安協会 優良高圧ガス保安責任者受賞
	2022/6/13	一般社団法人日本ボイラ協会兵庫支部 優良ボイラー技士受賞
愛知事業所	2022/4/21	半田防火危険物安全協会 優秀危険物取扱者表彰
川崎事業所	2022/6/24	神奈川県工業保安功労者（高圧ガス優良製造保安責任者等）表彰
	2022/5/20	白河地方消防防災協会 優良危険物取扱者表彰
日本工機㈱	2022/5/24	火薬学会技術賞（火薬関係技術の進歩に関する功績）
	2022/12/14	火薬類保安経済産業大臣表彰
日油技研工業㈱	2022/5/30	埼玉県火薬類保安協会長 永年勤続優良従業者賞
	2022/6/1	美唄市危険物安全管理協会 従業員勤続表彰
北海道日油㈱	2023/3/16	北海道安全運転管理者協会 優良安全運転管理事業所表彰
	2022/12/2	筑西労働基準協会 優良労働者表彰
NOFメタルコーティングス㈱	2023/3/8	健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）受賞
ニチユ物流㈱	2022/8/18	中小企業無災害記録 第3種銅賞受賞



神奈川県工業保安功労者表彰（川崎事業所）



火薬学会技術賞受賞（日本工機㈱）



中小企業無災害記録受賞（ニチユ物流㈱大分）



美唄市危険物安全管理協会表彰（北海道日油㈱）



### 健康経営の推進

日油は、「従業員の安全と健康の確保、快適な職場環境づくりが企業の持続的な成長の基盤である」との考えのもと、快適な職場環境づくりやメンタルヘルスケアに取り組んでいます。

従業員がこころ豊かな生活を実現し、いきいきと働くことができる職場を目指して、①快適な職場環境づくり ②メンタルヘルスケア ③健康の保持・増進を重点項目と定め、今後も従業員の健康保持・増進に向けた取り組みを推進していきます。また、この取り組みを推進するに当たっては、役員会議体での報告等を通じ、内容の充実を図っていきます。



### 定期健康診断

定期健康診断は社内で実施し、法定の項目に加えて腫瘍マーカーなど任意のオプション検査を行っています。定期健康診断の実施後は、日油健康保険組合と協働し、効率的かつ効果的な特定健康診査および特定保健指導の実施に取り組んでいます。

## 重点項目



### ① 快適な職場環境づくり

- ・業務効率化の推進と長時間労働の抑制
- ・仕事と家庭の両立を支援する制度のさらなる拡充
- ・受動喫煙の防止

#### 取り組み例

- ・年次有給休暇8日以上の取得喚起

#### 年次有給休暇取得率

2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)
69%	70%	73.4%

2023年度(目標) **73%以上**



### ② メンタルヘルスケア

- ・ストレスチェックの受検を推奨
- ・メンタルヘルス教育によるセルフケア意識の向上
- ・メンタルヘルス相談体制の充実

#### 取り組み例

- ・セルフケア意識の向上を図り、ストレスチェックの受検を推奨

#### 受検率(休職者等除く)

2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)
100%	100%	99%

2023年度(目標) **99%以上を維持**



### ③ 健康の保持・増進

- ・健康診断と適切な保健指導の確実な実施
- ・二次検診の受診勧奨と結果の把握
- ・日常生活における運動の促進

#### 取り組み例

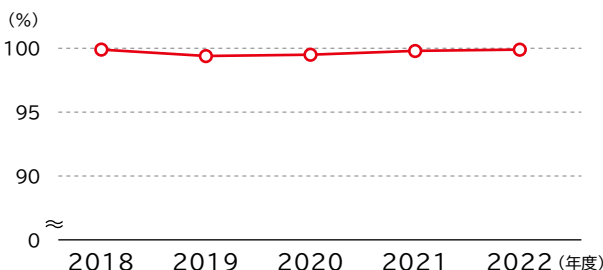
- ・健康の保持増進のため、日油健康保険組合が実施する「健康づくりウォーキング」の参加を推奨

#### 参加率

2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)
48%	49%	50%

2023年度(目標) **50%以上**

### 定期健康診断受診率 日油







### メンタルヘルスへの取り組み

日油では、メンタルヘルス疾患の予防・軽減および職場復帰支援までを含む総合的施策を推進しています。

具体的には、ストレスチェックの実施や社外のカウンセリング窓口の設置による早期発見・適切な対処等につなげていくこと、「職場復帰支援プログラム」を制度化し、メンタルヘルス不調による長期欠勤者・休職者の円滑な職場復帰を支援することなど、メンタルヘルス専門の産業医と連携した取り組みを行っています。

また、2022年度は総合職主事昇格者研修で、メンタルヘルス（ラインケア）研修（33名）を実施し、職制を通じた従業員の心の健康保持、増進に向けた施策も推進しています。

### 禁煙プログラム

喫煙習慣のある方ご本人の健康増進や非喫煙者の方の受動喫煙の防止を図ることを目的に、オンライン禁煙外来プログラムの参加者を募集し、喫煙習慣のある方の禁煙をサポートしています。

#### 禁煙プログラム参加者

2021年度 参加者 **31** 名 達成者数 **26** 名

2022年度 参加者 **11** 名 達成者数 **9** 名

※ 達成者数はプログラム終了時点の人数です。



### 安全・防災設備投資

日油グループでは、安全・防災関連対策として、爆発・火災・漏洩などを含めた事故防止対策、労働安全・作業環境改善対策等の設備改善工事を計画的に進めています。また、今後発生が予想されている大地震に備え、建物の耐震補強工事も計画的に進めています。

#### 2022年度の主な安全・防災設備投資

事業所	目的	内容
尼崎工場	防災 安全作業	消火器の更新、 高所作業ステージの新設・改修
千鳥工場	防災	防火シャッター更新 照明設備増強
大分工場	安全作業	高所作業リスク低減対策 雨天出荷場新設
武豊工場	台風・大雨対策	火薬庫の土堤改修
衣浦工場	作業環境改善	クーラー増設 腰痛対策機器導入 酸素濃度警報システムの改造

※1 機能損失災害：負傷が治った時に障がい（障害等級5級以上）が残る災害

※2 休業災害：休業1日以上の災害

※3 不休業災害を含む

※4 度数率＝延べ労働損失人員／延べ実労働時間数×1000

### 2022年度労働災害の発生状況

#### 2022年度 労働災害発生実績

指標	対象	2020年度	2021年度	2022年度
死亡、機能損失災害(人)※1	日油本体(日本)	0	0	0
	関係会社 (内訳)	0	0	0
	日本	0	0	0
	アジア	0	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	0	0	0
死亡、機能損失災害度数率※4		0.00	0.00	0.00
休業災害(人)※2	日油本体(日本)	0	3	1
	関係会社 (内訳)	1	1	0
	日本	0	1	1
	アジア	1	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	2	1	0
休業災害度数率※4		0.34	0.85	0.17
全災害(人)※3	日油本体(日本)	2	8	1
	関係会社 (内訳)	3	2	3
	日本	2	2	3
	アジア	1	0	0
	米州	0	0	0
	欧州	0	0	0
	場内協力会社	6	2	2
全災害度数率※4		1.70	2.03	1.01